

子どもたちに 核兵器のない世界を

核兵器廃絶めざす
全教メールニュース
第15号 2009.10.26

教育関係者から新たな動きが始まっている！

県知事が署名した埼玉県では、14人の市町村教育長から署名が送られ、さいたま市教育長からは「いま行動のとき」というメッセージまで届けられました。

徳島県の元教育長は、「核兵器と温暖化の解決のめどをつけて次の世代に引き継がなければならない」と署名に賛同しました。

茨城県のある市の教育長は小中学校の校長に署名をお願いし、教育委員会に署名回収箱を置いています。

オバマ演説以来、核兵器廃絶署名に壁がなくなっています。首長や議長、教育長が賛同するなど立場や信条を超えて「核兵器のない世界」の願いが広がっています。

すべての公民館に署名を置いた宮崎県都城市では地域の区長さん数千人が動き、回覧板で署名が回り、市民の4人に一人がすでに署名をしています。市長・市議会議長・市議が「私たちも応援しています」と名を連ねたピラを出した千葉県の四街道市では、コンビニに署名と回収箱を置いてもらおうととりくんでいます。



2010筆の目標達成を報告する高校3年生の折原さん、「大学進学も核兵器廃絶も、両方とも頑張りたい。5千筆を集めてニューヨークへ行きます」と爽やかに表明。

(10/22 原水協1200万署名推進中央集会で)

埼玉の高校生の頑張りに感動

昨年からは始めた「核兵器のない世界を」の署名活動で、なんと2010筆の目標を達成しました。十人にも満たない高校生が学校やバイト先、地元地域で、身の回りの人に声をかけてすすめてきた結果です。仲間の支えがあり、自分たちができることを無理のないペースでやってきたのがよかった。次の目標は5000筆、仲間と手をつないで頑張ります。

(原水協ニュースより抜粋)

NPT会議へ都道府県組織・支部から積極的に代表を派遣しよう

- 10月仮募集の申し込みは10月31日までに、県原水協か全教本部へ
- 5月2日(日) 国際行動デー・ニューヨーク行動
国連本部前で国連事務総長に署名を提出します
 - 3日(月) NPT再検討会議が開会、一般傍聴
各国政府代表団へ小班に分かれて要請行動
 - 4日(火) ニューヨーク市内に分かれて、街頭で署名行動
世界青年のつどい、女性のつどい、労働組合交流

派遣を決めた組織は、日程とコースを選び、申込書を県原水協、又は全教本部に提出してください。

*シカゴ・ピッツバーグでの労働組合(米電気労組など)との交流を含むコースもあります。